

こどもの城 ニュース


KODOMO NO SIRO NEWS

2010・7・1 No.219 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
http://www.kodomo-no-shiro.jp

いつもげんきにスイッチオン

ほっとしたせんぷうき

せんぷうきが フウフウ いいながら
へやかにせを おくっていると おかあさんが
「せんぷうきを ほめてくんなら
あかちゃん よろしくね」
といそがしうに できていました。
「オッケー。まかせといて」
あかちゃんは きもちよさを ねむっています。
せんぷうきは おこさないように
フウフウと やさしいがせを おくりました。



でも あかちゃんは まだだしてしまって
あわてて てんじょうのガラガラを
フウフウ フウフウ いいながら
ガラガラ ガラガラ まわしても
せんぷうきは やまみません。
しょうがないので
にわにでている おかあさんのところに
フウフウ フウフウと
あかちゃんのなきごえを とどけました。
おかあさんは あわててかけてきて
ミルクをあげると
あかちゃんは ようやく なきやみました。
せんぷうきは フウとひといき つきました。
(ふん・うえき まさのぶ・えい・いがき けいこ)



〔こどもの城〕が開館して、今年で25年目。子どもたちのすこやかな成長をめざして、〈あそび〉をとおしてさまざまな“であい”と“発見”が体験できるように、いろいろなプログラムを用意して活動しています。

音楽の部門では、開館したときから西洋の音楽だけではなく、アジアの音楽（インドネシア・ジャワ島のガムラン）や日本の音楽（三味線や和太鼓）をとりあげ、はばひろい“音楽体験”ができるようにしています。アジアの音楽には、西洋の音楽とは異なる“おもしろさ”“楽しさ”があり、また、あらためて日本の音楽にふれると、わたしたちの体のなかで共鳴する“なにか”に気づいたりします。今回は、アジアの音楽の一つで、〔こどもの城〕の開館のときからの活動「ガムラン」を紹介します。

音をとおして 人と人との “やわらかな関係”を 生みだす音楽

インドネシアのガムラン

はばひろい“音楽体験”をするために 開館のときから「ガムラン講座」行う



ガムランは、大小さまざまな青銅の打楽器を中心とした、インドネシアの合奏音楽です。なべをふせたような〈ボナン〉や〈クノン〉、太いひもでつるされた〈ゴング〉、青銅の板がもっさんのように並ぶ〈サロン〉〈スルトゥム〉〈グンデル〉、もっさんの仲間〈ガンパン〉、ごきゅうの仲間の〈ルバフ〉などに、竹の笛〈スリン〉や歌も加わり、全体をたなる型のたいこ〈クندان〉がリードして演奏します。



一つひとつの音が 重なり、組み合わさる ガムランになる

ガムランという音楽の“しくみ”は私たちの社会（コミュニティー）に例えることができるといいます。赤ちゃんもいれば、お年寄りもいます。八百屋や魚屋もあれば、そこで買い物をする人もいます。元気な人もいれば、病に

苦しんでいる人もいるかもしれません。いろいろな人が集まって社会が成り立っています。不必要な人はいません。大きい、小さいはあるかもしれませんが、一人ひとりに社会をささえる“役割”があるのです。

ガムランの合奏も同じ。それぞれの楽器が全体のなかで“役割”をもっています。楽器の大きさ、音の大きさが重要性が異なることはありません。どの楽器にも、どの音にも、全体をささえる役割があるのです。一つひとつの音（人）が重なり、組み合わさってガムラン（社会）になるのです。

〔こどもの城〕の開館のときからガムラン講座の指導をしてきた、田村史子筑紫女学園大学准教授は「ガムランの合奏では、個々の楽器が個性を競い合うのではなく、それぞれが役割を果しながら、たがいにひびきを重ねていきます。大きい楽器ほどたまにしか音を出さず、

小さな楽器のこまやかな音の動きを支えています。指揮者の役割を果す〈クندان〉も、みんなの前に立つのではなく、合奏のなかに混じって演奏します」と話します。西洋の音楽とは異なる「音をつうじて人と人との“やわらかな関係”を生みだすような音楽です。」

わらべうたに似た音階で親しみやすい

ガムランの音階は、「か〜ごめかごめ〜」などの日本のわらべうたや民謡に似ています。日本人にとっては、学校で教わった西洋の音楽ではなく、どこかで聞いたことのある“なじみのある”音楽ということになります。韓国や中国でも同じような音階が使われています。

もう一つ、沖縄の音階に近い音階も使われています。これと似た音階は、東南アジアからアフリカまでの広い地域で使われています。同じような音階の音楽に親しんでいる人たちがいると聞くだけで、なんとなく親しみをおぼえ、世界が身近に感じられます。

「25年前に〔こどもの城〕で、アジアの音楽のすばらしさと、(西

洋の音楽の合奏とは異なる)ともに演奏する“合奏”の楽しさを知ってもらおうと、日本で初めての、そして日本でただ一つの、子どものためのガムラン講座をはじめました」と田村准教授。たくさん子どもたちが、ガムランを学んでいきました。

7月27日(13時30分～15時)の青山円形劇場では、25周年を記念して、大人も子どもも、障害を持っている人も、みんなが集まってガムランを楽しむコンサート+観客参加型ワークショップ「みんなでガムランを演奏しよう」(入場料=1,000円/3歳未満無料)を開催。「ガムラン講座」で学んできた子どもたちも出演します。

インドネシアの中部ジャワのガムラン界を代表する3人の演奏家をむかえ、ジャワのガムランと舞踊のコンサート「天地(あめつち)の響(ひびき)〜ジャワ・ガムランによる共生(ともいき)〜」を7月26・27日に青山円形劇場で開催します(19時開演/4,000円:当日4,500円)。こどもの城音楽事業部共催。

ガムランは、“打楽器”の“合奏”音楽 すぐに音をだせ、役割にあわせて演奏

〔こどもの城〕で、ジャワ島のガムランをとりあげた大きな理由は—“打楽器”の“合奏”であるということです。

打楽器というのは、たたいて音を出す楽器です。初めてガムランの楽器にふれる人でも、すぐに音を出すことができます。楽器をたたいて出た音は、空間に広がっていきます。同時に、手やゆか(地面)を伝わって体で感じるすることができます。

たく場所がわかれば、合奏を楽しむことができます。自分が出した音が全体の音に重なって、一つの音楽になると、それだけでうれしくなります。

合奏して楽しむ音楽であることは、たいせつなポイントの一つです。〔こどもの城〕には、たくさんの子

どもたちが遊びに来ます。男の子もいれば、女の子もいます。幼児から小学生、中学生、高校生と年齢もいろいろです。みんながみんな、同じように演奏するのは、難しいかもしれません。しかし、ガムランは、一人ひとりが自分の役割をはたしながら、たがいの音(ひびき)を重ねて音楽を作っていく合奏なので、いろいろな子どもたちが参加することができます。それぞれができる“役割”で演奏すればいいのです。一つの音だけで、合奏に加わることもできます。

開館以来、音楽部門では、いろいろな“音楽体験”ができるように、西洋の音楽だけではなく、日本やアジアの音楽をとりあげてきました。今では、ブラジル(サンバ)やアフリカへと音楽の世界が広がっています。

児童福祉施設給食用

スキムミルク

スキムミルクはこんなにすぐれています。



子どもの発育に欠かせない たんぱく質、ビタミンB2を 多く含んでいます。

不足しやすいカルシウムが多く、 消化吸収がよいものです。

保存性が高く、飲料・料理に 幅広く利用できます。



イラスト:ナシエ



子どもたちの健康づくりに

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から脂肪分(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪が極めて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも様々なお菓子づくりなどにも幅広く活用していただけます。

さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品としても高く評価されています。

大人だけではなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪、低エネルギーのスキムミルクを上手に給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お申し込み お問い合わせ TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216

ニュージーランドの良質な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入することにより、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

こどもの城となかまたち

32人が参加して「手技を楽しむ」

紙飛行機、こま、手話で遊ぶ

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会開催

平成22年度第1回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、6月9・10日の2日間にわたって「こどもの城」で開かれました。全国の児童館などで指導にあっている児童厚生員など32人が参加しました。



風をあそぶ

紙飛行機は、折って作るタイプと、厚手の紙から切り出して作るタイプの2つ。どちらも、ゴムに引っかけて飛ばすもので、建物3・4階の高さまで飛ばします。形やバランスなどを考慮して設計されたものですが、参加者には児童館に帰ってから作れるように、型紙が配られました。



手話ろう

「こぶ(結び目)」しておくなど、実際的できめ細かな講習。ひもの巻き方、こまの投げ方、指導のポイントも実際にこまを回しながら、分かりやすく指導しました。

きがグー、チョキ、パーの形になるものがあります。胸の前で広げた手を動かす「うれしい」はパー、こぶしを肩に見立てて割るよう動かす「ラッコ」はグー、というようにして手話でじゃんけん。楽しく手話にふれることができる遊びを体験しました。



手話ろう

「こどもの城」の七夕プログラム「うたつてハッピー たなばたスベシヤル」の星の飾りをつけて「たなばたダンス」に、ステイジにあがり、「たなばた」などを元気に歌って、踊ります。

わくドキ キャンペーン

キャンペーン期間中(7月10日~8月31日)、何回でも使えるお得な「優待バス」——ドキドキバス(こども用)1,500円、わくわくバス(おとな用)1,800円。期間中5回利用することに、秋から使える「こどもの城」入館招待券1枚をプレゼントします。

第9回東京国際和太鼓コンテスト

組太鼓 青少年10組、一般10組 大太鼓10人が一次審査を通過 8月14・15日に青山劇場で本選

TAIKO JAPAN 2010「第9回東京国際和太鼓コンテスト(本選)」が8月14・15日に青山劇場で開催されます。14日が組太鼓青少年の部(13時開始)、15日が大太鼓の部(11時開始)と組太鼓一般の部(15時10分開始)。

【組太鼓一般の部】創作和太鼓集団打鼓音(神奈川県)/山木屋太鼓「山猿」(福島県)/和太鼓 梵迦(愛知県)/県立飛騨高山高等学校太鼓部(岐阜県)/子不知太鼓(新潟県)/県立岐阜総合学園太鼓部 team「風光児」(岐阜県)/鼓摩の会 和太鼓和楽(山梨県)/勤労障害者長崎打楽団 瑞宝太鼓(長崎県)/鬼島太鼓(長野県)/のさか太鼓(千葉県)



第9回東京国際和太鼓コンテスト 組太鼓青少年の部最優秀賞: 転輪太鼓風雲児風組(写真提供: ステージライブ)

子ども向け「工作教室」

楽しいカスタネット作り(8月13・15日) ミニ太鼓作り(8月14・15日)

TAIKO JAPAN 2010「第9回東京国際和太鼓コンテスト(本選)」が8月14・15日に青山劇場で開催されます。14日が組太鼓青少年の部(13時開始)、15日が大太鼓の部(11時開始)と組太鼓一般の部(15時10分開始)。

【組太鼓青少年の部】与一太鼓 子供の部(栃木県)/川越ふじ太鼓(埼玉県)/大野見こども太鼓(高知県)/山木屋太鼓「鼓狐」(福島県)/和太鼓キッ

島崎麻美のダンスワークショップ「新しい感覚を感じる」

「感覚」を共有してダンスの喜びを分かち合う 8月11日に小学1~4年生程度(ダンス未経験者含む)対象に

世界のコンテンポラリーダンスを牽引する、パットシエバ舞踊団に計12年参加し、ダンス先進国イスラエルをベースに世界で活躍するダンサー・振付家の島崎麻美のダンスワークショップ「新しい感覚を感じる」が、「こどもの城」青山劇場で開催されます。

ダンス未経験者を含む小学1~4年生程度を対象とした「こども向けワークショップ」は、8月11日(14時~15時45分)に開催されます。感覚で遊びながら、即興のおもしろさを学び、正しい筋肉の使い方を身につけます。定員は20人(先着順)。

青山劇場

PLAYZONE 2010 7月9日~8月1日 5,500円(間)0180-993-700

青山円形劇場

●モダンイマーズ公演 「真夏の逢光とサイコ」 7月7~18日 4,500円(当日=4,800円) ※各種割引あり

青山円形劇場

●あさみゆきセルフプロデュース~ふれあいコンサート 7月1・2日 6,000円(間)03-3479-2245

青山円形劇場

●第25回こどもの城マタニティ・コンサート 7月4日 入場無料(応募制招待)

青山円形劇場

●かたり2010 戦に放ったプロ野球選手 7月11日 昼の部=2,000円、夜の部=3,500円(間)03-5971-9002

ファミリーアドベンチャー2010

身近な自然のなかで、わくわくするような「冒険」を楽しむ「ファミリーアドベンチャー」。夏には、多摩川の支流、秋川の川原(東京都あきる野市・伊奈キャンプ村)で、「川遊びアドベンチャー~思っきり川遊び~」を開催します。

ファミリーアドベンチャー2010

8月1日に奥多摩の川原で「川遊びアドベンチャー~思っきり川遊び~」7月6日正午から電話で先着順に受け付けて川に入り、泳いだり、魚を網ですくったりすることができます。

本場ブラジルのサンバに挑戦!

わいわいスタジオ「サンバの体験ワークショップ~地球の反対側からこんにちは」が、5月30日にBスタジオで開催されました。ブラジルのリオデジャネイロの人気サンバチーム「モノプロコ」のメンバー3人の指導で、本場のサンバの演奏にチャレンジ!

7月16日に第2回こどもの城食育講習会

「食育基本法」では、「食育」を生かす上で基本と位置づけ、特に「子どもたちに対する食育は、心身の成長および人格の形成に大きな影響をおよぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるもの」としています。

7月16日に第2回こどもの城食育講習会

「乳幼児期からの健康づくり~医学・栄養・運動の3点から~」が、管理栄養士が過食や偏食など「気になる食べ方」のとりえ方や楽しい食べ方のコツなど「わかりやすい食事アドバイスのポイント」について実践的に紹介します。

異なる職種の見解が聞けて有意義

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月2日「川崎市制記念日」

「こどもの城」では、乳幼児期に焦点をあてた第2回こどもの城食育講習会「乳幼児期からの健康づくり~医学・栄養・運動の3点から~」を7月16日(10時~17時)に開催します。

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月2日「川崎市制記念日」

「こどもの城」では、乳幼児期に焦点をあてた第2回こどもの城食育講習会「乳幼児期からの健康づくり~医学・栄養・運動の3点から~」を7月16日(10時~17時)に開催します。

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月2日「川崎市制記念日」

「こどもの城」では、乳幼児期に焦点をあてた第2回こどもの城食育講習会「乳幼児期からの健康づくり~医学・栄養・運動の3点から~」を7月16日(10時~17時)に開催します。

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月2日「川崎市制記念日」

「こどもの城」では、乳幼児期に焦点をあてた第2回こどもの城食育講習会「乳幼児期からの健康づくり~医学・栄養・運動の3点から~」を7月16日(10時~17時)に開催します。

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、

7月11日

こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」を開催 具体的な事例をもとに現場での最善の対応の仕方を考える、こどもの城子育て支援講習会「心とからだの健康0.1,2歳児~事例から学ぶ~」の第1回「心理的な理解と対応」が、